

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 光線場変調による人の現実世界認識の拡張
2. 研究代表者： 伊藤 勇太（東京大学 大学院情報学環 特任准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、【存在と場の拡張】という研究ビジョンのもと、人の視覚と現実世界の光線場を自在に制御する技術と、ヴァーチャルと物質空間の相互作用を行う技術を探究し、人々が現実世界の認識を能動的に拡張して新たな価値観を自由に創出できる未来を目指すものである。フェーズ1では、3つの研究項目に対してそれぞれ3年で顕著な成果を挙げており、まだ成果の達成に至っていないものについても一定の方向性は見えている。民間企業がやらないような研究をあえてやるという姿勢は評価できる。フェーズ2では、フェーズ1の成果を踏まえた、先進的ARディスプレイ技術と裸眼での表示系による挑戦的な基盤技術開発の研究計画に期待する。

以上